

# 和歌山県の取り組み

和歌山県高次脳機能障害支援拠点機関

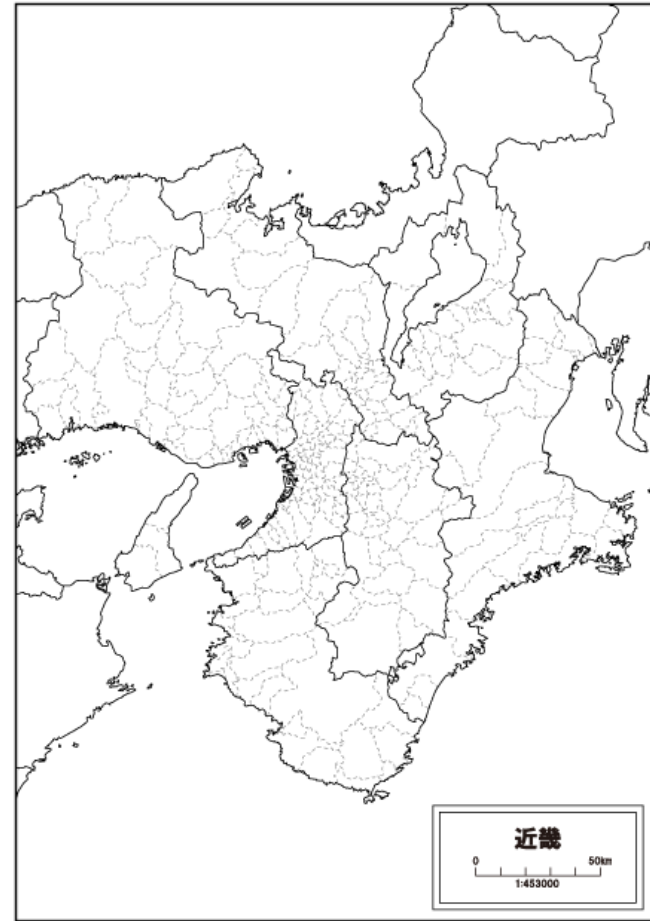
和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 障害者支援課

支援コーディネーター 柴田 理子  
作業療法士 嶋本 真弓

# 近畿にある和歌山県

- ・2015紀の国わかやま国体開催  
(第70回 国民体育大会)
- ・2015紀の国わかやま大会開催  
(第15回 全国障害者スポーツ大会)

和歌山県は、紀伊半島に位置し、北は大阪府、東は奈良県、東南は三重県に接し、西は紀伊半島を挟んで徳島県と向かい合い、半島の先串本町潮岬は本州最南端にあたります。



「紀伊山地の霊場と参詣道」は世界遺産に登録されました。

# 和歌山県の紹介



- ・和歌山県の人口 96万5,597人
- ・和歌山市の人口 36万2,897人  
(平成27年4月1日現在)

・海岸線は、和歌山市から新宮市まで648キロメートルに及ぶリアス式海岸。

# 和歌山県

## 高次脳機能障害支援拠点機関

- 所管課 和歌山県庁  
障害福祉課  
こころの健康推進班
- 支援拠点機関 県内に1カ所(所在地 和歌山市)  
和歌山県子ども・女性・障害者相談センター  
障害者支援課

# 事業内容

- 相談支援事業  
職員体制  
支援コーディネーター(以下、「支援Co」とする。) 2名  
社会福祉士(非常勤・専任)  
作業療法士(常勤・兼務)
- 普及啓発事業  
一般県民向け研修会開催  
リハビリテーション講習会への協力  
リーフレット配布・ホームページでの広報活動
- 研修事業  
支援者向け地域支援ネットワーク研修会開催

# 研修事業

## 地域支援ネットワーク研修会（平成24年度～）

- 研修内容

学識講師による講義および事例検討会

（90分）

（90分～120分）

支援ネットワークの定義（白山による）<sup>1)</sup>

高次脳機能障害者の地域・社会生活上の問題を多様なニーズと捉え、支援機関及びそれに所属する支援コーディネーターが中核となれり行政機関、医療機関、福祉施設、労働関係機関などのフォーマルな対象、そして、当事者・家族などのインフォーマルな対象までも連携先とし、医学・社会・職業・認知リハビリテーションなどを含むしたりハビリテーションシステムと連動する支援体制のあり方

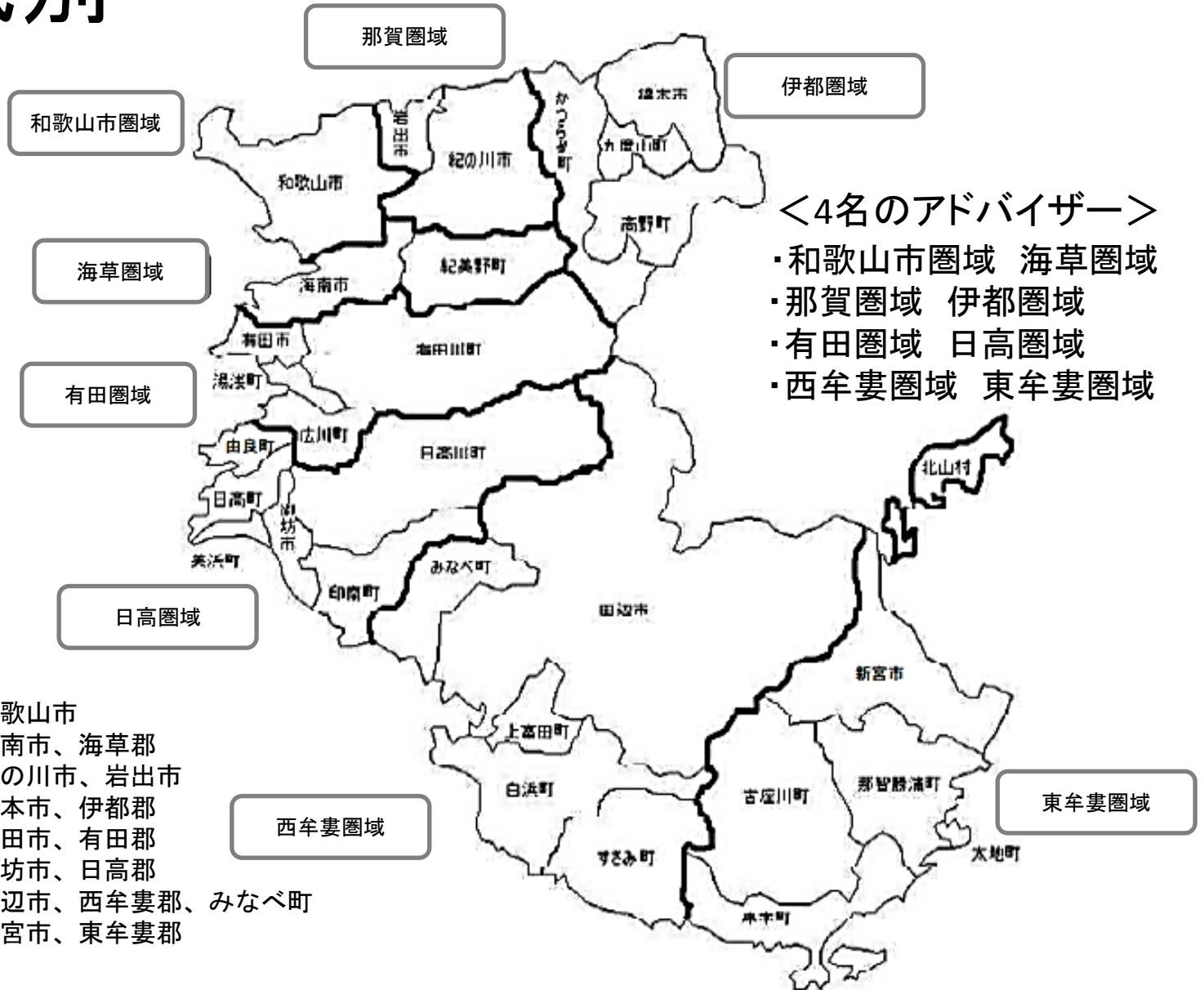
# 地域支援ネットワーク研修会

- 開催場所と頻度

県内3カ所 年に3回開催

- 開催にあたり、地域生活支援事業における県相談支援体制整備事業のアドバイザー（圏域別担当）に開催通知などの協力を得ている。

# 圏域別



## ＜4名のアドバイザー＞

- ・和歌山市圏域 海草圏域
- ・那賀圏域 伊都圏域
- ・有田圏域 日高圏域
- ・西牟婁圏域 東牟婁圏域

- 和歌山市圏域 : 和歌山市
- 海草圏域 : 海南市、海草郡
- 那賀圏域 : 紀の川市、岩出市
- 伊都圏域 : 橋本市、伊都郡
- 有田圏域 : 有田市、有田郡
- 日高圏域 : 御坊市、日高郡
- 西牟婁圏域 : 田辺市、西牟婁郡、みなべ町
- 東牟婁圏域 : 新宮市、東牟婁郡



# 近畿ブロック拠点機関とのつながり

- 近畿ブロック支援Co会議

近畿ブロック各府県市の支援Co等の実務担当者による近畿ブロック支援Co会議において、支援技術や各種情報、課題について現場目線での協議を行い、支援体制の活性化につなげる。また、支援Co間の交流や情報交換が行える。

- メーリングリスト（愛称：コーディネット）

近畿ブロック支援Coを中心としたメーリングリストを、各種情報（研修会開催日程など）の共有ツールとして活用

## <拠点機関つながりの利点>

他府県市間と比べ、移動距離がある和歌山県では、連絡調整しやすいメールは、情報共有がスムーズと感じている。

また、会議での他府県市の支援Coとの顔合わせは、支援Coの心理的負担の軽減にもつながっている。

# 家族会の紹介

和歌山脳外傷友の会 家族会《和らぎ》

- 平成19年5月に発足

＜現在活動内容ほか＞

- 脳外傷友の会 準会員
- 家族交流会や啓発活動として催事などへ参加  
(2ヶ月に1回程度)
- リハビリテーション講習会の開催
- 会員に日本脳外傷友の会のメール通信を転送

# 事例および取り組みの紹介

近畿ブロックの他府県市支援拠点機関と連携を行い、和歌山県内の地域支援ネットワークを活用し復職できた事例の取り組みを紹介します。

# 引用文献・参考文献

- 1) 白山靖彦著：高次脳機能障害に対する医療・福祉連携モデルに関する研究, 風間書房, pp141-153, 2010
- 2) 中島八十一 寺島彰編集：高次脳機能障害ハンドブック 診断・評価から自立支援まで, 医学書院, 2006
- 3) 研究代表者 中島八十一：平成25年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究